

2023 年 10 月 2 日
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2023 年 9 月調査)

1. 業況判断

9 月調査では、製造業、非製造業とも悪化したため、全産業では▲11 と前回調査から▲4 ポイント悪化した。前回調査では改善、水準は▲4 を予測していた。

製造業 . . . はん用・生産用・業務用機械などが悪化したため、全体では▲16 と前回調査から▲4 ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲9 を予測していた。

非製造業 . . . 運輸・郵便は改善したものの、建設、卸・小売が悪化したため、全体では▲6 と前回調査から▲4 ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は 2 を予測していた。

先行き (2023 年 12 月予測)は、製造業は悪化、非製造業は改善を予測しており、全産業では▲11 と 9 月調査と同水準を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2023 年度 (計画)は、製造業は前年度比 4.0%の増収、非製造業は同 4.3%の増収となり、全産業では同 4.1%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業 (修正率▲0.6%)、非製造業 (同▲0.4%)とも下方修正され、全産業では▲0.5%の下方修正となった。

(2) 経常利益

2023 年度 (計画)は、非製造業は前年度比▲12.3%の減益となるものの、製造業は同 23.7%の増益となり、全産業では同 14.0%の増益計画。

前回調査との比較では、非製造業 (修正率▲13.6%)は下方修正されたものの、製造業 (同 11.1%)が上方修正されたため、全産業では 4.9%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2023年度（計画）は、非製造業で前年度比18.7%の増加となったものの、製造業は同▲21.6%の減少となったため、全産業では同▲7.9%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率4.6%）、非製造業（同0.1%）とも上方修正されたため、全産業では2.6%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業ともに「不足」超幅が拡大したため、全産業でも「不足」超幅が拡大した。先行き（2023年12月予測）は、「不足」超幅のさらなる拡大を予測。

以 上